

葉山館開館一周年記念

世界の美術館 未来への架け橋 —25のミュージアム建築

Museums for a New Millennium: Concepts Projects Buildings

同時開催：日本から未来へ—Museums by Japanese Architects
現在進行形の4つの美術館建築

- 会 期 : 2004年10月30日(土)～12月19日(日)
休 館 日 : 月曜日、祝日の翌日[11月4日(木)、11月24日(水)]
開館時間 : 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
観 覧 料 : 一般1000(900)円 20歳未満・学生850(750)円 65歳以上500円
()内は20名以上の団体料金です。
高校生以下の方、障害者の方は無料です。
- 会 場 : 神奈川県立近代美術館 葉山
〒240-0111 三浦郡葉山町一色2208-1
tel.046-875-2800

- 主催 : 神奈川県立近代美術館、読売新聞東京本社、美術館連絡協議会
後援 : スイス大使館
協賛 : 花王株式会社
協力 : 日本航空
企画 : バーゼル・アート・センター、チューリヒ連邦工科大学

This international travelling exhibition is a project of the Art Centre Basel, Basel, Switzerland, coordinated under the direction of Suzanne Greub. Scientific curators and editors of the catalogue are Vittorio Magnago Lampugnani and Angeli Sachs, from the Institute for the History and Theory of Architecture at the Swiss Federal Institute of Technology, Zurich.

詳しくは、美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。
http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2004r_25museums.pdf

秋の神奈川再発見キャンペーン参加イベント
※この展覧会には関連プログラムがあります。プログラムの詳細は別紙をご参照ください。

お問い合わせ先

神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
tel.046-875-2800 / fax. 046-875-2968 広報担当：忌部 展覧会担当：李
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>

世界の美術館 未来への架け橋－ 25 のミュージアム建築

Museums for a New Millennium: Concepts Projects Buildings



フランク・O. ゲーリー グッゲンハイム美術館、ビルバオ 外観
© FMGB Guggenheim Bilbao Museoa, photo: David Heald

神奈川県立近代美術館は、葉山館開館1周年を記念して、世界のミュージアム建築を紹介する展覧会を開催します。

21世紀がはじまりを迎えようとする10数年の間に、世界には次々に新しいミュージアムが開館しました。ロンドンのテート・モダンやビルバオのグッゲンハイム美術館、ベルリンのユダヤ博物館などにみられる個性的な形とコンセプト、都市や環境との新しい関係は、ミュージアム自身の持つ意味の変貌を予感させるものでした。本展では、現代の新しいミュージアム建築を、政治や体制の変革、経済構造の変化、歴史の再検討など、激しく動く社会と価値観の変動を受けた文化現象の一つと捉え、多角的な視点から、ミュージアム建築に新たな考察を加えることを意図しています。

展覧会は、安藤忠雄、ダニエル・リバスキンド、ヘルツォーク&ド・ムーロン、レム・コールハース等、現代建築の先端を走る建築家による、世界を代表する25のミュージアム建築を集めた大規模なものとなります。実現したもの、プロジェクト案として未完に終わった挑戦的な設計案なども含め、図面・素描・写真・模型など約300点を展示し、ミュージアム建築と社会の未来へ向けた関係を探ります。世界のミュージアム建築の現在の動向を一望の下に見渡す、絶好のチャンスとなるでしょう。

主な出品作家・ミュージアム

安藤忠雄／フォートワース現代美術館

フランク・O. ゲーリー／グッゲンハイム美術館、ビルバオ*

ヘルツォーク & ド・ムーロン／テート・モダン

レム・コールハース／

ZKM、アート・アンド・テクノロジーセンター（計画案）

ダニエル・リバスキンド／ユダヤ博物館、ベルリン*

リチャード・マイヤー／ゲティ・センター、ロサンゼルス*

ジャン・ヌーヴェル／カルティエ財団現代美術館

他、全25組

（末尾*印は写真データあり。使用時にはクレジットを必ずご掲載ください。）



ダニエル・リバスキンド ユダヤ博物館、ベルリン 外観
© Jewish Museum Berlin photo: Jens Ziehe, Berlin

また、葉山館開館1周年を記念し、同時開催として日本の建築家4名による『日本から未来へー Museums by Japanese Architects』を開催します。詳細は別紙リリースをご参照下さい。

同時に鎌倉館においても建築とデザインをテーマとする『ジャン・プルーヴェ』展が開催されます。この秋は、神奈川県立近代美術館の鎌倉・葉山両館で、建築とデザインを巡る展覧会がダイナミックに展開します。ぜひご期待下さい。

同時開催：葉山館開館一周年記念

日本から未来へ — Museums by Japanese Architects

現在進行形の4つの美術館建築

：於 第3展示室

葉山館開館1周年を記念し、また世界巡回展である『世界の美術館 未来への架け橋』展の日本巡回を機に、日本での独自企画として、4組の日本人建築家を取り上げた美術館建築展を開催します。

あおきじゅん ばんしげる せじまかずよ にしざわりゆうえ
青木淳、坂茂、妹島和世+西沢立衛／SANAA、ヨコミゾマコトの4組の建築家は、30~40歳代の比較的若い世代を代表する建築家として、世界で、日本で、大きく活躍しています。遺跡発掘現場のように大地を掘り抜いて、館内に土の壁を導入した、青木淳の青森県立美術館。フランスのメス市にできる、ポンピドゥー・センター分館の設計コンペに勝利した坂茂。明るく開放的な円形の外周を持つ、妹島和世+西沢立衛／SANAAの金沢21世紀美術館。館内の各部屋そのものを円形にして、新たな空間システムを提案するヨコミゾマコトの新富弘美術館。それぞれに強い個性を放つ4つの作品が、美術と美術館と社会の新しい可能性に挑みます。

さらに、葉山館開館1周年を期して、葉山館の設計から竣工までのプロセスを含む、設計コンセプトや建築サイドと美術館サイドとで交わされたディスカッションの一部を、設計者である株式会社佐藤総合計画の協力により、パネル展示します。

主催：「日本から未来へ — Museums by Japanese Architects」展実行委員会
共催：美術館連絡協議会

協賛：花王株式会社、株式会社エルコ・トートー、タキヤ株式会社、
いわき建築設計事務所協会、株式会社佐藤総合計画、株式会社新日軽、
イトーキ、株式会社大氣社、ダイキン工業株式会社、富士通株式会社、
株式会社モマ神奈川パートナーズ

協力：青木淳建築計画事務所、坂茂建築設計、妹島和世+西沢立衛／SANAA、
aat+ヨコミゾマコト建築設計事務所

文化庁芸術拠点形成事業

出品作家・作品

青木淳： 青森県立美術館（2005年竣工・2006年開館予定）

ドローイング、模型、写真、アニメーション、土壁の実物サンプル等

坂茂： ポンピドゥー・センター・メス（2007年開館予定）

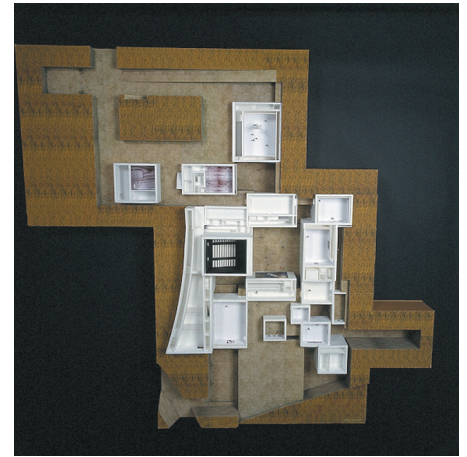
コンペ用プレゼンテーションボード（日本語解説付き）、模型

妹島和世+西沢立衛／SANAA： 金沢21世紀美術館（2004年10月9日開館）

写真、模型

ヨコミゾマコト： 新富弘美術館（2004年9月竣工・2005年開館予定）

イメージ写真、図面、模型、現場写真等



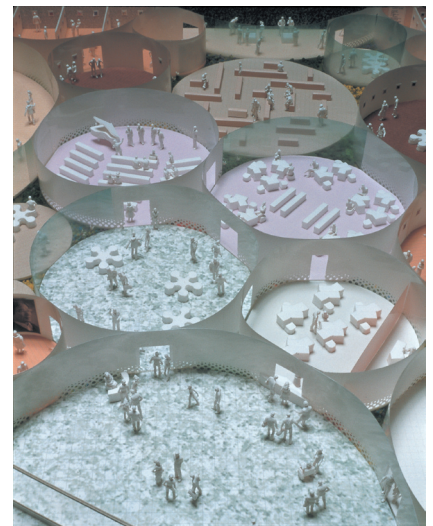
青木淳 青森県立美術館



坂茂 ポンピドゥーセンター・メス



妹島和世+西沢立衛／SANAA 金沢21世紀美術館



ヨコミゾマコト 新富弘美術館